

Genesisn Flood Narrative and Mesopotamian Flood Stories

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-10-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐々木, 哲夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/261

〈講演要旨〉

旧約聖書と信仰 ーギルガメッシュ叙事詩とノアの箱舟ー

佐々木哲夫

本講演の目的は、旧約聖書の創世記に記載されている「ノアの箱舟」の物語を古代オリエントの洪水物語である「ギルガメッシュ叙事詩」「アトラ・ハシース物語」「シュメールの洪水物語」との比較において読解しようと試みるものである。¹⁾ 本稿においては紙幅の関係上、講演自体を逐語的に収載するのではなく、その内容を簡潔に要約して提示することにした。

ノアの箱舟の記事(創6:9-9:17)に関し、D. S. DeWitt は、創世記の記事が粘土板の楔形文字文書に由来すると想定し、10の部分に分割している。そして「ノアの箱舟」には三つもしくは四つの粘土板を仮定し、特に、6章1a節を表題、6章1-8節を歴史設定、6章9-12節を奥付(colophon)、9章18節を要約奥付(summary colophon)と見なした。²⁾ この仮説は、ノアの洪水物語の起源を創世記編集時期以前の遙か昔に設定する。創世記の記事の起源の古さに関しては、創世記5章の系図とシュメールの王名表を対比させた J. Walton の研究などからも暗示される。³⁾

一方、様式批評は、重複記事に注目し並行資料(J, P)を想定する分析を行った。⁴⁾ さらに、この資料説によって解決し得なかった年代など数字の問題を N. Lemche は、太陽暦の換算方法である月30日の考え方を

用いPがJを統合させたと推論した。⁵⁾ 即ち、R^{1P}が最終的編集を行ったとの推論である。

他方、G. J. Wenham は、共時的視点より構造分析を行い、ノアの箱舟の記事の統一性を提案した。⁶⁾ また、19世紀の中葉に G. Smithらは、アッシリア王アシュルパニパルの図書館跡を発掘し、いわゆるギルガメッシュ叙事詩の第11番目粘土板「ウトナビシュティムの洪水物語」を発見した。⁷⁾ 主人公ギルガメッシュのモデルはウルクに実在した王であり、この物語は、単なる神話ではなく歴史伝説(historical legend)と見なされている。⁸⁾

さらに古い神話の不死や永遠の命という主題がギルガメッシュ叙事詩に織り込まれたと T. Jacobsen は仮定し、G. Smith はギルガメッシュ叙事詩がノアの箱舟の物語に影響を与えたと推論した。⁹⁾ しかし、A. Heidelはさらに詳細な比較検討を加え、ギルガメッシュ叙事詩とノアの箱舟の物語が共通する資料層に基づいたものと推論している。¹⁰⁾ 彼は、ノアの箱舟の物語がギルガメッシュ叙事詩に従属しないと分析したのである。しかし、ここで新たな疑問、ではノアの箱舟の物語の独自性は何かとの疑問が生じる。

この疑問を解決するために各洪水物語の

比較検討を試みる。¹¹⁾ 例えば、物語を下表の如くに九つの場面に分割し、その内容を比較検討する。描写や表現に関し独自性が認められるか、共通性を見出せるかについて吟味する。もし、ノアの箱舟の物語に独自の要素が見出されるならば、それを手がかりにしてその執筆意図を解明し得るのではないか。もしくは、ノアの箱舟の物語の収載意図を推察し得るのではないかと考える。

場面	J	P	Gilgamesh	Atra-Hasis	Sumer
神の決定	◎	◎		人間の騒音	従順
箱舟乗船	◇	◇			
戸締	□	□	△	△	
洪水	☆	☆	☆	☆	
恐れ	◆	◆	◆	◆	◆
山頂	■	■	■	■	
犠牲	▲	▲	▲	▲	▲
会議	★	★	★	★	★
祝福	♣	♣	♣	♣	♣
	♡	♡	♡	♡	♡

- ◎…人間の罪、◇…主人公の義
 □…箱舟作製の命令、△…長老たち
 ☆…箱舟作製、●…家族や動物などの乗船
 ◆…嵐の到来、■…洪水で全て死ぬ
 ▲…神々の恐れ、★…箱舟だけが助かる
 ♣…犠牲を捧げる、♣…神々の会議
 ♡…神のようになる、♠…豊穡の祝福と賛美
 ♡…神からの祝福の契約

表1 洪水物語の比較

表1の通り、ノアの箱舟に特徴的な要素として、神の洪水決定の理由(◇)や最後の祝福の契約(♡)が挙げられる。人間の罪とノアの義の対比は特徴的である。箱舟の作製の過程、洪水の描写、犠牲を捧げる場面に関する描写は共通性がある。虹の契約は実に特徴的である。即ち、神に対する信仰と神よりの祝福がノアの箱舟の物語の

意図を暗示している。この結論は、創造者なる神と被造物なる人の関係を伝える創世記全体の意図に沿うものである。

注

- 『古代オリエント集』筑摩世界文学体系1(筑摩書房、1977年)。
- D. S. DeWitt, "The Generations of Genesis," *EvQ* 48 (1976): 198, 203.
- J. Walton, "The Antediluvian Section of the Sumerian King List and Genesis 5," *BA* 44 (1981): 207-208.
- G. W. Coats, *Genesis* (Grand Rapids: Eerdmans, 1983), 73-84., C. Westermann, *Genesis 1-11* (Minneapolis: Augsburg Pub. House, 1984), 393-94., 遠藤嘉信「洪水物語(創世記6章~9章)の構造と資料説」『聖書釈義研究(Exegetica)』第10号(1999年)1-18頁。D. L. Peterson, "The Yaswist on the Flood," *VT* 26 (1976): 446.
- N. Lemche, "The Chronology in the Story of the Flood," *JOST* 18 (1980): 52-62.
- G. J. Wenham, "The Coherence of the Flood Narrative," *VT* 28 (1978): 338.
- A. Heidel, *The Gilgamesh Epic and Old Testament Parallels* (Chicago: Univ. of Chicago Press, 1949), 1.
- K. A. Kitchen, *The Bible in Its World* (Exeter: The Paternoster Press, 1977), 63.
- T. Jacobsen, et al., *Before Philosophy: The Intellectual Adventure of Ancient Man* (Harmondsworth: Penguin, 1946), 223-24.
- Heidel, *The Gilgamesh Epic*, 267.
- T. Fryme-Kensky, "The Atrahasis Epic and its Significance for our Understanding of Genesis 1-9," *BA* 40 (1977): 148., R. A. Oden, "Divine Aspirations in Atrahasis and in Genesis 1-11," *ZAW* 93 (1981): 216.